

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	介護基礎	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	誠文堂新光社 「介護実技の基本のき」				
担当教員情報					
担当教員	武田 瑞穂子	実務経験の有無・職種	有・介護福祉士		
学習目的					
介護に関する基礎知識・コミュニケーションの方法を学ぶ。鍼灸師は機能訓練指導員や介護支援専門員として介護の現場に関わる機会が増えてきた。現実の介護の現場の話を知ることにより、将来的な可能性を広げる助けとする。また、年配の方たちとのコミュニケーションをとるための注意点などを学ぶ。					
到達目標					
世代の違う他者ともスムーズなコミュニケーションをとれる人材育成が目標である。老人や障害のある方との接し方には物理的精神的な技法が存在する。正しい介護技術の修得をすることが良好なコミュニケーションをとるための第一歩と考えられる。加齢や障害が日常生活にどのような影響を与え、それを克服するためにはどのような方法が有るのかを知り、対応策なども習得する。					
教育方法等					
授業概要	介護をすることの意義と重要性を確認する。最も大事なことは、介護が必要な方に対してどのように敬意をもってコミュニケーションができるかが問題となってくる。単純な同情や親切ではなく専門家としての言語や振る舞いの在り方を学ぶ。また、簡単な介護と思われがちな車いすの使い方やベッドでの寝返り、移乗などの細かいテクニックの存在を知り、実行できるように体験する。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	100%	期末試験		
	小テスト				
	レポート				
	平常点 (成果発表 （口頭・実技）				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	コミュニケーションの重要性	信頼を得るために必要な最低限の知識を理解する			
2回	ICFとは・介護とは	介護と障害に関する世界的傾向 介護の3原則を理解する			
3回	コミュニケーションとは	コミュニケーション機能が低下している方たちとのコミュニケーションの取り方を理解する			
4回	車いすの操作	車いすの操作について（含む 体験）			
5回	車いすの操作	車いすを使った生活の注意点（体調管理の大切さ、ボディメカニクス）			
6回	弱者に対するコミュニケーション	身体的・精神的弱者に対する気配りの仕方			
7回	話し方スキル実習	受容されるための話し方、理解されるための話し方			
8回	杖歩行の介助	杖を使用しての歩行（含む 体験）			
9回	衣服の脱着着替えることの意味	自分で更衣をする意義と方法（含む 片麻痺の人の着脱）			
10回	移乗の介助	車いすとの移乗に関する手助け（含む 車いすからベッド、ベッドから車いす）			
11回	介護保険制度とは	介護保険制度に関わる行政の方針と実態			
12回	認知症とは	認知症とはどのように進行していくか			
13回	ホスピタリティを考える	誰かのためになるとは、どのような事か			
14回	サーバントリーダーシップ	「授業を振り返る」というテーマで行う疑似カンファレンス			
15回	全体の振り返り	全体の過不足を補う。全期を通しての疑問を解決する。			